

台風 19 号による被災状況・ 対応について



令和元年 10 月、台風 19 号の接近により長野県内は大きな被害を受けました。聴覚障がい者情報センターがある長野市下駒沢も千曲川の決壊で浸水、大きな被害を受けました。

10 月 12 日（土）は正午で臨時休館、電話リレーサービスも午後 1 時で終了し、台風の接近に備えました。13 日（日）朝、千曲川の決壊で情報センターがあるサンアップルでは浸水が始まっていました。そのため県の指示により 13 日は臨時休館となりました。

運営主体の長野県聴覚障害者協会は一時的に松本市で災害支援対策本部を発足し、安否確認や情報収集に努め、聴覚障がい者情報センターでもホームページで情報発信を行いました。

14 日（月）には水が引いてきてサンアップルに入館、状況を確認しました。館内は停電、断水、インターネットが使えない状況で、また、1 階部分は泥がつかっていて悪臭がひどい状況でした。そのため、サンアップル入居施設職員とで連携し、復旧作業を開始しました。時々、雨が降るたびに避難指示が出されるなかでの作業になりました。停電、インターネットが使えない間は、松本市内でホームページ更新や動画での情報発信をつづけました。

聴覚障がい者情報センターの停電が解消されたのは被災してから 5 日目、インターネットが復旧したのは被災後 12 日目でした。

通信が復旧するまでの間は、鳥取県から急遽お借りした iPad2 台でキャリア通信を使って Skype による連絡業務を行いました。

また、災害支援対策本部では、長野県聴覚障害者協会、各地域協会、支援者団体などと連携しながら、聴覚障がい者の安否確認、被災した聴覚障がい者についての情報共有と支援、県や市との連絡調整などを行いました。また、鳥取県からは 10 月 28 日（月）から第 1 次、11 月 6 日（水）から第 2 次チームが派遣され、長野県や長野市などの行政や関係団体と連携した支援活動や調査、訪問活動を行いました。

ちなみに、鳥取県の災害支援チーム派遣は、手話を広める知事の会で災害支援に関する緊急提言を受けて実現したものです。

今もなお復旧作業は続いていますが、今回の災害対応を検証し、今後の防災に向けた対策を検討していく必要があります。

被災！どうしたらいいの・・・？ 困ったときは情報センターへ

情報センターでは被災した人からの相談を受け付けています。「り災証明書って何？」、「手続きの方法がわからない」などの相談などもあり手話や文字で対応しています。どんなことでも結構ですとお気軽にご相談ください。

臨時休館のお知らせ

聴覚障がい者情報センターはしばらくの間休館です。開館日が決まりましたらホームページでお知らせします。ご迷惑をおかけします。